



広報

かわち



成



字/大野 綾香 さん (かわち学園中学校2年)



'17年広報かわちバックナンバー

☆ 2017年の広報かわちを再現してみました。☆



編集・発行 河内町役場秘書広聴課
 〒300-1392 茨城県稲敷郡河内町源清田1183
 ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/>
 モバイル版アドレス <http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/mobile/index.html>

河内町モバイルホームページ
 QRコード
 ※QRコードは読みとれない場合もあ
 りますのでご了承ください。





河内町議会議長
野澤良治

誰もが希望の持てる 公平な町づくりを目指して



河内町長
雑賀正光

あけましておめでとうございます。平成30年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げますとともに、新しい年が皆様と河内町にとりまして素晴らしい年になりますよう、心から願っております。

茨城県にとりまして昨年は、明るい話題やうれしい話を多く提供してくれた年でした。一月場所稀勢の里が優勝し、日本出身横綱が19年ぶりに誕生、弟弟子である高安も大関に昇進しました。6月に行われた世界卓球選手権では、東海村出身の吉村真晴選手が混合ダブルスで日本人として48年ぶりに優勝しました。そして、NHKの連続テ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、輝かしい平成30年の新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、平素より町議会並びに町政に対し、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、近年の我が国をめぐる情勢は、長引く不況を乗り越え、緩やかな回復基調が続いているものの、地方においては依然として停滞感の強い、極めて厳しい状況にあり、加えて雇用環境や少子高齢化問題等解決すべき課題も山積しております。このような状況の中、人口減少の克服と地方創生を実現するため、創意工夫を活かした施策に基づ

レビ小説「ひよっこ」では、主人公は当県の山あいの村出身という設定でしたので、茨城弁が全国のお茶の間を賑わしました。

また、茨城には、新しい風も吹きました。8月に行われた県知事選において、県民は新人の大井川氏を選びました。これは、24年の実績と安定した県政運営より、県政の刷新と新しい感覚での茨城づくりに期待した結果の現れだと思えます。今後、風がどのように吹いていくのか、町長として、県民の一人とし、新知事に大いに期待したいと思います。

4月からは、三つの小学校が統合され、名実共に小中一貫校「かわち学園」が始まります。その一方で、金江津・みずほ・生板の三つの小学校が、それぞれの歴史に幕を下ろすことになります。地域の方々、特に卒業生にとりましては母校がなくなってしまうことに、一抹の寂しさを感じないではないと思います。

しかし、それぞれの小学校の伝統や精神は、消えてしまわずに、必ずやかわち学園に受け継がれていくはず。新しい学び舎であるかわち学園を児童たちの成長とともに、みんなで見守っていきたいと思います。

き町村の自治能力を高め、都市部と「共生」しうる社会を強力に進めていくことが重要であります。

昨年を振り返りますと、トランプ新政権発足に伴い、TPP離脱を正式表明ほかNAFTA再交渉、オバマケア撤廃宣言などのトランプ大統領旋風に始まり、尖閣諸島問題、慰安婦問題、北朝鮮による核・ミサイル問題等東アジアに緊張が続く、今後の情勢が大変危惧されるところであります。

また、地方自治法が昭和22年に施行されて70周年を迎えた極めて意義深い年でもありました。このような大きな節目に当たり、あらためて地方自治の意義と重要性について認識を深めることが望まれます。

わが県においては、8月に県知事選挙が行なわれ、自民・公明の連立与党が推薦した大井川和彦氏が当選され、今後の手腕が大いに期待される所です。県民の期待を常に担ってきた稀勢の里が初場所優勝し、若乃花以来19年ぶりに日本出身の横綱が誕生となり、新横綱として迎えた春場所では逆転優勝を飾るなど二場所連続の優勝で、私たちに大いに勇気と希望を与えてくれた年でもありました。

明るい話題としましては、眞子さま

少子高齢化に代表される急速な社会変化、権限移譲など地方分権の推進、そして民間企業の経営手法といった新しい行政手法の導入と、今日ほど、地方自治体はその政策や施策を試されていることはないでしょう。また、子育て支援のための施策、空き家対策への取り組み、生板バイパスの早期完成など、引き続き取り組まなければならない課題・問題は数多くあります。

町としましては、昨年3月に策定しました総合計画に基づきまして、町民の皆様のご協力をいただきながら、政策の実現、諸問題の解決のため全力で取り組んでまいります。

私も再選の榮に浴してから、6か月が過ぎました。町政を担わせていただきましたこと、課せられました責任の重大さを今一度肝に銘じまして、これからも「チェンジーかわち」町を良い方向に変えたいという初心を忘れることなく、河内町の発展を目指し、町民の皆様のために汗を流していきたいと思えます。

皆様におかれましても、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

がご婚約内定となり、国民が喜びに浸ったところでもあります。

本町においても、少子高齢化が進行する中、子育て支援対策と若者の定住促進等諸問題の解決に引き続き取り組まなければなりません。そのためには、基幹産業である農業を「活性化」して、潤いのある社会を目指していくことが重要課題と考えます。昨年度に策定した第5次総合計画並びに総合戦略に基づき、より一層の対策を講じなければなりません。

4月から、小学校も統合された小中一貫教育を目指した義務教育学校が開校します。保護者の皆様、町民の皆様のご協力をいただき、統合により閉校になりますそれぞれの学校の伝統や文化など良いところを受け継ぎながら、かわち学園の発展を切望いたします。我々議会一同といたしましても、めまぐるしく変わる社会情勢を勘案しながら問題意識を共有し、町民の皆様のご信託に応えられますよう努力を重ねてまいります。

どうか今年も、相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。